

「水の国くまもと」の五色季

水の国には五つの季節があります。春夏秋冬、そして田んぼに水が張られ、ホタルが舞い、梅雨が来る初夏。この季節は水の国にとってとても意味のある季節です。

私たちは、それぞれの季にある水の風景とともに、五つの季節の中で暮らしています。

「水の国くまもと」の五色季は、熊本だからこそ身近にある「水」の姿です。

【各ポスターのコンセプト】

1 朝靄に包まれる冬麗らかなる水

あさもや

うら

熊本は豊かな地下水が湧く「水の国」。湧水は年中温度が一定で、寒い冬の朝には暖かい湧水を湛えた湖面が濃い靄に包まれ、朝陽と相まってうらかな景色を映し出します。それが熊本の冬の水の姿です。

2 萌春の息吹薫る野生の水

ほうしゅん

風そよぐ山々に萌える若葉が芽吹く頃、熊本の溪谷は、新緑の生き生きとした息吹と新鮮でみずみずしい水の薫りがあふれています。

その水は大自然の中から生まれ、様々な生物に命を吹き込む野生の水です。

3 初夏の夕陽に映える恵みの水

田んぼに水が張られ、ホタルが舞い、梅雨が来る。「水の国」にとってとても意味のある季節。山間の棚田も平野の水田も西を向く熊本の初夏は、夕陽に映える水を張った田んぼの姿があたり前の風景です。その水は稲を潤し、米を育て、豊かな地下水を育む恵みの水です。

4 盛夏の大地を潤す豊かなる水

暑い「火の国くまもと」は、夏の真っ盛りにも地中深くから冷たい水が湧き出し、灼熱を鎮めます。その清冽な水は大自然と先人の営みによって育まれてきた私たちへの賜物。真夏の冷たく豊かな水は、人々の喉と心を、田んぼを、そして大地万物を潤す水です。

5 錦秋を優しく包む彩りの水

きんしゅう

山々が美しく錦に染まる秋。奥深い熊本の溪谷は柔らかい日差しに照らされ、そこには、紅色、橙色、山吹色の葉をまとう木立の中を、静かに溪流の水が流れます。その水とせせらぎは華やぐ景色を優しく包み込み、彩りを添えながら流れる水です。